

調査研究事業報告

「親と子の意識調査」の分析結果報告研修会の実施について

調査研究事業主担当 木津 秀美

1 はじめに

本室では、2年間にわたり、調査研究事業として、教育に関する親子の意識について調査しました。平成18年6月には、市内小中学校全児童生徒（約8400人）を対象とした「生活実態調査」を、翌年6月には、市内小中学校児童生徒の保護者（3,447人）を対象とした「教育に関する保護者意識調査」を実施しました。

「生活実態調査」は本室主管で実施しましたが、「教育に関する保護者意識調査」は調査委員会を立ち上げ、同委員会主管で実施しました。

両調査の集計と分析については、年度毎に本室スタッフで行い、「生活実態調査」は平成18年度「室報」に、「教育に関する保護者意識調査」は19年度「室報」に掲載しました。また、この内容はその都度、学校へは校長会等を通じて報告し、保護者や市民へは、各校学校便りや広報誌等を通してお伝えしてきたところです。

平成20年度の取り組みとしては、この2年間の調査で明らかになった課題やその改善方法について、「親子意識調査分析報告研修会」と題し、市内全小中学校の校内研修で取り上げてもらい、本室職員が出向き、実施しました。また、一部の学校ではPTAの講演会や学校保健委員会等でも取り上げていただき、実施しました。

2 受講者の感想から

(1) 先生方からの感想抜粋（親子意識調査分析報告研修会に参加して）

・日頃から生徒の対応の難しさを実感していますが、調査による裏付けを知ること
で、生徒に対する日頃の自らの言葉遣いを振り返る貴重な機会になりました。（中学校男性教師）

・体の冷えについては非常に興味があります。子ども達の手を触るととても冷たく
感じた経験がよくあるからです。冷えによって心身の調子を崩さぬよう指導してい
きたいです。（中学校女性教師）

・本調査及び分析結果は大変興味深く、考えさせられることが多かったです。2学
期早速、保護者会等でこの内容を伝えたいと思います。冷え等根本的な課題の対応
策を伝えたいと思っています。（小学校女性教師）

・児童生徒を取り巻く環境が具体的、多角的に知ることができ、彼らの危機的状況
がよく理解できました。保護者だけでなく我々教師も肯定的な関わりをしなくては
と思いました。（小学校男性教師）

・共感的な会話がなぜ必要かという部分で、核家族の進んだ現代では、大人一人当
たりの子どもの内面に占める割合が大きくなっているという説明で大いに納得し
た次第です。（小学校男性教師）

(2) 保護者からの感想抜粋(親子意識調査分析報告講演会に参加して)

- ・食事の大切さ、親の子どもに対する言葉遣いの大切さがよく分かりました。子どもの心に共感し、肯定的に関ることがいかに重要なのが理解できました。ありがとうございました。(小学生の母親)
- ・娘なので家では十分な会話をしていると思っていましたが、富士見市の調査から親と子の認識にかなり差があることが分り驚きました。これからはより気を付けて温かく見守りたいと思います。(小学生の母親)
- ・しつけをする時に、親が暴力や暴言を使うと、子どもは友達に対して自分の言うことを聞かない時に暴力や暴言を使うということを改めて分かりました。親の責任の重さを痛感しました。(中学生の母親)
- ・日本の子どもや若者は人として育っていないと、若い人を使う身として、日頃から感じていたが、深く了解できた。と同時に、大人としての自分のいたらなさも痛感した。(中学生の父親)

3 「親子意識調査分析報告研修会」資料について

次頁以降に、当研修会時に使用した資料を掲載してあります。なお、本資料を作成するにあたって参考にした文献は以下の通りです。

<参考文献>

文科省編：「文部科学白書」(平成17年度版)2006.3

国立教育政策研究所：「教育関係者のためのコーチングプログラム開発に関する調査研究報告書」2006.3

平野吉直：「『子どもの体験活動等に関する国際比較調査』の実施結果について」
http://nyc.niye.go.jp/youth/book2003/html/04/04_02_sa.htm

中村和彦：「子どものからだは危ない」2004.8 日本標準

足立己幸：「知っていますか子どもたちの食卓」2000.2 N H K 出版

今村光一：「キレない子どもを作る食事と食べ方」2002.5 主婦の友社

正木健雄：「おかしいぞ子どものからだ」1995.6 大月書店

川島朗：「心もからだも『冷え』が万病のもと」2007.12 集英社新書

石原結實：「血液浄化健康法」2007.12 リュウ・ブックスアステ新書

生田哲：「心の病は食事です」2006.7 P H P 新書

中里至正・松井洋：「日本の親の弱点」2003.3 毎日新聞社

中里至正・松井洋：「日本の若者の弱点」1999.4 毎日新聞社

ドロシー・ロー・ノルト：「子どもが育つ魔法の言葉」2002.3 P H P

4 まとめ

今後も、この調査を定期的に継続し、そこで明らかになった課題やその改善方法について、教員対象研修会やPTA・保護者対象講演会等、様々な機会や場面に活かし、そのことを通して、本市教育に役立てていきたいと思っております。